

What's New? What's Hot?

NEWS

『第6回東アジア機能性イオンシンポジウム』『第16回中日韓遠赤外線シンポジウム』9月、上海で開催 マイナスイオン、機能水に関する研究発表

『第6回東アジア機能性イオンシンポジウム』『第16回中日韓遠赤外線シンポジウム』が今年9月25日、中国上海市にて開催された。中国科学技術促進会が主催する国際機能水シンポジウムで、マイナスイオンなど機能性イオンやミネラルウォーターに関する講演や討論が行われた他、商品展示会も実施。今回は中国・日本・韓国の東アジア3カ国合同でのシンポジウムとなり、日本からは大学教授、経済産業省元主任研究者、医師、機能水関連企業社長などが参加した。

日本国内の健康市場が伸び悩む中、中国では9,000万人ともいわれる富裕層中心に健康食品が1兆6000億円の市場を形成するなど、急速に拡大している。特にマイナスイオンや機能水に対する関心は高く、シンポジウムでも「中国での負イオン

や遠赤外線の技術動向」(北京大学教授 金宗哲)、「中国における機能水と機能性繊維の開発動向」(河北工業大学材料学院 副院長 梁金生)の講演が行われた。

■活性水素水『奥長良川の秘水』に注目 会場では講演者など本シンポジウム関係者の紹介もあり、日本からは活性水素水『奥長良川の秘水』を発売するテクノス(株)の中川則成社長が紹介された。水素水製法の日本からの技術導入と、水活性水素商品の中国における大きな可能性に大きな期待が寄せられた。

中国では地下水汚染が問題となっており、発ガン性物質の硝酸性チッソや臭素酸、重金属が含まれている可能性が指摘されている。そのため日本製の水を輸入販売する業者も多く、健康食品としての活性水素水が注目を集めているのだ。中国政府も水素



負イオン学会学術報告会(2010年9月25日于上海召开)

上个月我参加了矿泉水负离子学会的学術報告会。通过参加此次報告会，增加了我对面向9,000万人的中国富裕层销售活化氢水的可能性的信心。我相信在中国将会比日本活化氢水普及的更快。

特克纳斯有限公司 董事长 中川 則成

水の国家レベルの普及戦略を進めるなど、日本の水素水企業には追い風となりそうだ。

■非加熱無菌充填のナチュラルミネラルウォーター 『奥長良川の秘水』

数多いミネラルウォーターの中で、注目を集めている商品がテクノス(株)の活性水素水『奥長良川の秘水』だ。その機能性の高さ、歌手の西城秀樹さんや、読売巨人軍の長島茂雄終身名誉監督が脳梗塞から復活した時期に飲んでいた水としても話題を呼んでいる。

同品は同社開発の高速循環式活水装置(特許取得済)を用い、岐阜・奥長良川の天然水を遠赤外線処理と磁気処理したもの。非加熱無菌充填のミネラルウォーターで、水の分子クラスターが小さく、酸化還元電位が低い体へ吸収されやすい。活性水素も豊富で、体内の過剰な活性酸素を除去することが期待できる。口当たりはまるやかで飲みやすく、弱アルカリ性の軟水だ。『秘水』と他のミネラルウォーターとの大きな違いは、「非加熱無菌充填」にある。現在、日本で売られているミネラルウォーターのほとんどは加熱殺菌方式で、海外ではボル

ドウォーターと呼ばれているもの。水は、沸騰するとおいしさの決め手である炭酸ガスや酸素が少なくなるだけでなく、10分で活性水素量が0になってしまう。さらに、高温加熱殺菌充填ではペットボトルから微量のアセトアルデヒドが溶出するという報告もあるから注意が必要だ。

現在、全国に450以上の水工場があるが、完成度の高い非加熱フレッシュパック充填工場は同社を含め4、5工場しかない。非加熱無菌濾過方式のノウハウを持つ企業はほとんどないのが実情だ。非加熱はミネラルウォーターの機能性にとって非常に重要で、水が「生きている」ことがポイントになる。非加熱の『秘水』には他のミネラルウォーターに比べ、数倍の活性水素が含有されているのだ。



イオン化ミネラルの効用

世界一の長寿国日本。高齢化進行の背景はどこにあるのでしょうか。平均寿命八十歳以上の人が大勢いらっしゃるからです。つまり明治生まれの方が元気な素質をもっているということなのです。健康長寿で天寿を全うするには、青年期まで自然な生活環境で過ごすことが基本です。そのためには、キレイな空気、清冽な水は不可欠で、その環境が護られるがきり、ポケ、植物人間になることはありません。即ち、予防医学の根本は水の環境安全にかかっているのです。さらに、母なる大地の恩恵をすなおに受けることです。生命の起源が「ミネラル」のイオン化であったと考えられます。漢方薬でも基礎は薬石です。このようなことは、皆様すでにご存知のとおりでしょう。

セラミックの素材は高純度のメタケイサンイオンで、(有機珪素)これはゲルマニウムと同族の元素です。ミネラル還元水には、このミネラルがかなり多く含まれています。ベストセラーの「知られざるメタケイ酸の効用」は、多くの情緒不安定の難病の原因がミネラルの不足に起因するとしています。この所説に見られるように現代人に必要な栄養素とくにミネラルの不足

は目をおおうばかりで、その原因は酸性雨、化学肥料、農薬等による農地汚染土壌の農作物の「知られざる栄養素の不足」にあるのです。これがミネラルイオンが、脚光を浴びてきた背景です。

成人病(アルツハイマー症を含む難病)の増加が高齢者ばかりでなく、低年齢層にも増加しているのは、心因性ストレスにあるとされていますが、その根本的な原因は、内・外からくるストレスに対する抵抗力の低下にこそ最大の直接原因があったのです。

多くの健康法がブームになっていきますが、例えば音楽療法、芳香療法、ヨガ、ハリ、気功法等様々のものが効果ありとして流行しているのは、それらを必要とする人たちが増えているからです。なぜ増えているかということ、もう一度繰り返しておきます。ミネラルイオン不足が血行代謝、呼吸代謝を妨げて、酸素の足りない体質にしまいました。多くの健康法が酸素代謝をさかんにすることによって効果を発揮しているのです。そういうことであれば、酸素不足にならない食生活の環境こそ大切だということです。

ミネラルイオンの豊かな秘水こそ、現代人に不可欠なものではないでしょうか。

关于功能水的各种见解

① 水分子团理论

水分子团越小, 水的活性越强, 渗透性就越高。这种现象已经被科学界所公认。在不含有有机物质, 硝酸性氮等的水中测定PH值, 分子团越小, 水质越好。可是, 如果含有有机物质, 硝酸性氮等过多的话, PH值在9-10的碱性测定条件下的水的水分子团也会小。而这样的水质并不达到健康标准。通过核磁共振器可以进行简单的测试。

近期, 人体内含活性酶的水被认为是健康的水。这是生命之水研究所的松下教授的见解。

② ORP(氧化还原势值)

最近, 在氢水商业中, 有片面强调低的ORP值的倾向, 但是ORP值过于低, 身体中起杀菌作用的活化氧也会过少。人的身体适于弱碱性。光有过剩的活化氧也是有害的。因此, ORP值不是衡量功能水的唯一指标。活化氧和活化氢的平衡是很重要的。没有活化氧的水是死水。是早川交流还原水研究所的早川英雄教授的学说(电子分解方式) 日本医科大学大学院的大田教授(氢气添加方式) 这方面的显著的临床试验很少。

③ 负离子矿物质

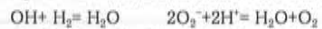
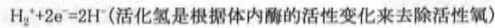
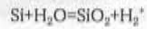
东大的山野井博士的见解是围绕原子核周围转动的电子增减变化, 酸化-中性-还原状态变化。这也仅是一种假设。测试水中的负离子很困难。

④ 活化氢

九州大学白畑教授的见解, 也是一种假设。测试水中的活化氢很困难。

⑤ 活化氢水(特克纳斯的见解)

矿物质(硅元素)+ 弱微的能量(远红外线+ 磁场处理)



②、③、④、⑤都是阐述电子的状态的。阐述物质氧化和还原状态的。是阻抗酸化能力。

仅仅是一个假设, 没有很强的说服力。

⑥ 通过日本电子制 ESR 能测定抗酸能力

⑦ 总结

为了扑捉水的性质, 我们一直都在探索水中有什么物质成份。化学从来都是从分子的构造来解释物质的性质, 从能量传递面来分析生命现象。

自然科学现象有很多是无法用理论来解释的。因此就存在很多假设的说法。证据胜于理论。

正是为了提供证据我们实施了试饮制度, 请大家作为参考。

【日本語訳】- 機能水についての見解 -

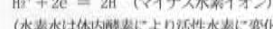
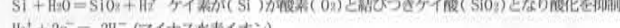
① クラスター理論について: 水の分子集団が小さいと物質に対して浸透性が高く、これは現象面で確認されています。有機物・硝酸性チッソ等が含まれていない水で、PH値で測定して、クラスターが小さい水は良い水ですが、硝酸性チッソ・有機物が多く含まれていても、PH値が9-10のアルカリイオン水はクラスターは小さくなります。このような水は健康には良くありません。核磁気共鳴装置で簡単に測定できます。最近では体内酵素を活性化させる水が良い水と主張。機生命の水研究所の松下先生の学説です。

② 酸化還元電位 (ORP値) について: 最近、水素ビジネス商品で酸化還元電位 (ORP) の低さのみを強調しているものがありますが、ORP値が低過ぎるとからだに入ってきた細菌を殺菌する活性酸素が少なくなり過ぎます。からだには弱アルカリ性が適しています。余剰な活性酸素のみが有害です。ORP値のみが機能水の指標ではありません。溶存酸素と溶存水素のバランスが大切です。溶存酸素のない水は死んだ水です。早川交流還元水研究所の早川英雄先生の学説です。(電気分解方式) 日本医科大学大学院の大田教授(水素ガス添加方式) 水素水のヒト臨床テストが少ない。

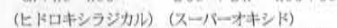
③ マイナスイオンについて: 東大の山野井博士の学説ですが、原子核の周りを回っている電子の数の増減により、酸化-中性-還元状態に変化しますが仮説です。水中でのマイナスイオンの測定が難しい。

④ 活性水素について: 九州大学の白畑教授の学説ですが、これも仮説です。水中での活性水素の測定が難しい。

⑤ 水素水(テクノス社の主張): ミネラル(ケイ素)+ 微細エネルギー(遠赤外線+ 磁気処理)



(水素水は体内酵素により活性水素に変化し、活性酸素を消去)



(ヒドロキシラジカル) (スーパーオキシド)

②も③も④も⑤も電子の状態を云っています物質の酸化と還元状態を述べています。抗酸化力のことです。ひとつの仮説だけでは十分に現象を説明できないのも事実です。

⑥ 日本電子製 ESR によって抗酸化力が測定できます。

⑦ まとめ: これまで水の性質を捉えるのに、水にどんな物質成分が溶け込んでいるかということのみが問題とされてきました。従来の化学は分子構造から物質の性質を説明しようとしてきたがエネルギー伝達という側面からも生命現象を分析しています。自然科学の現象は理論的に説明されていないことが多くあります。その為に各種の仮説が存在します。論より証拠です。その証拠の裏証の為にモニター制度を実施していますので参考にして下さい。